

# 嫌酒薬(ノックビン)について

[ \_\_\_\_\_ ]さま

## 【嫌酒薬とは】

- 嫌酒薬とは、一般に飲酒後に激しい不快反応を引き起こし、その為に飲酒を断念させる薬物です。
- 体内に入ったアルコールはアデノシンデヒドロゲナーゼ(ADH)という酵素の働により肝臓で分解されます。嫌酒薬はこの ADH 酵素の働きをストップします。
- 嫌酒薬を飲んでいる患者さんが飲酒すれば「一滴もお酒がのめない人がお酒を飲んだ」ようになります。つまり、吐き気・気分不良などの症状が生じます。量が多い場合には急性アルコール中毒・昏睡の危険もあります。
- **嫌酒薬は 飲酒欲求を抑制することはできません。**ただ、お酒を飲むことによって不快な症状が起こるのであれば、飲酒を継続することは事実上不可能になります。心理的効果で飲酒を思いとどまらせる薬物です。

## 【注意点】

- 現在嫌酒薬にはジスルフィラム(ノックビン)とシアナミドがあります。
- ジスルフィラムの有名な副作用は、肝障害と精神症状です
- 特に重篤な肝障害は服用開始後2カ月以内に起こることが多いとされます。服用開始直後はしばしば採血を行い、安全を確認します。
- 嫌酒薬が入っているのがわかっているからお酒を飲むことは、ある種自殺行為です。症状もかなりつらいので気を付けましょう。
- ノックビンは服用をやめても、効果はすぐに消えません(数日～一週間単位で残存します)。夜お酒を飲もうと思って、朝の内服をやめても、薬の効果は残っています。

上記内容を説明しました。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 科

---